

和歌山県トレセンU-15活動報告

第29回京都招待中学サッカー大会

【報告者】 土井和則（和歌山県トレセンスタッフ）

1. 大会概要

- (1) 日 時：2010年12月25日（土）～27日（月）
- (2) 会 場：京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）
京都府立府民スポーツ広場（みどりが丘）
京都市下鳥羽公園球技場
- (3) 主 催：（社）京都府サッカー協会
- (4) 主 管：（社）京都府サッカー協会3種委員会
- (5) 大会方法：予選リーグ
5チームずつ4ブロック（A、B、C、D）に分け、それぞれ各グループごとに総当たりリーグ戦を行う。
決勝トーナメント
予選リーグの結果より、それぞれの順位別の順位決定トーナメントを行う。
- (6) 試合時間：30分－5分－30分

2. 大会結果

参加チーム：京都府トレセン・奈良県中体連選抜・南河内トレセン・岡山県トレセン
埼玉東部トレセン・京都クラブ選抜・滋賀県トレセン・大阪府トレセン
福井県トレセン・千葉市トレセン・京都山城選抜・奈良県トレセン
三重県トレセン・京都市選抜・京都口丹波選抜・泉南トレセン
京都中丹選抜・兵庫県トレセン・**和歌山県トレセン**・石川県トレセン

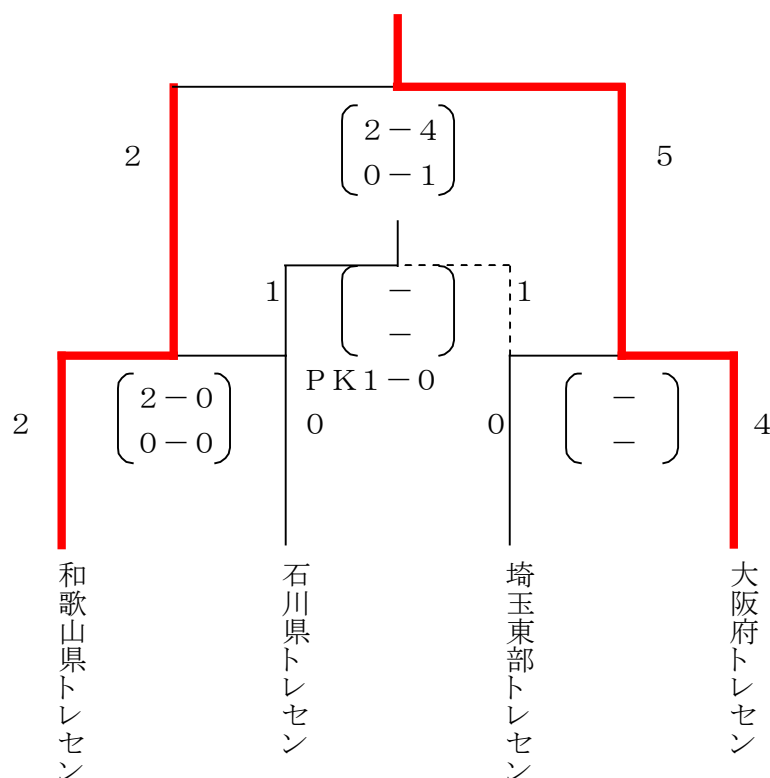
予選リーグ 12月25日（土）京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）
26日（日）京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）

グループA

	京都中丹	京都府	奈良中体連	福井県	和歌山県	勝ち	分け	負け	勝点	得失	順位
京都中丹	***	● 0-8	● 0-2	● 1-11	● 1-3	0	0	4	0	-22	5
京都府	○ 8-0	***	○ 10-0	○ 3-2	○ 3-2	4	0	0	12	20	1
奈良中体連	○ 2-0	● 0-10	***	△ 1-1	△ 2-2	1	2	1	5	-8	3
福井県	○ 11-1	● 2-3	△ 1-1	***	○ 1-0	2	1	1	7	10	2
和歌山県	○ 3-1	● 2-3	△ 2-2	● 0-1	***	1	1	2	4	0	4

順位トーナメント 12月27日(月)

4位トーナメント 会場：京都府立府民スポーツ広場(みどりが丘)



第14位 和歌山県トレセン

3. 目的

- ①あいさつ、礼儀、宿舎でのマナー
 - ②ゲーム前後のあいさつ
 - ③個人のプレー
 - ④チームとして
- 勝利+プレーパフォーマンス
和歌山県選抜としてのプライドを持つ!!

4. 成果と課題

今年のU-15としての活動は夏の合同合宿がなく4、5月の練習会から11月の選考会を経て今回の大会に参加をした。例年に比べ活動回数が少なく、私学受験者や県外への希望者の今大会への参加辞退者が多数あったため選手の入替わりが多く、チームとして戦うことの意識が低いように思われた。

そのため、集団としては和歌山県U-15の代表として全員で活動の円滑化に努めることを目指し、個人としては公式戦から遠ざかっている選手も多いことからプレーパフォーマンスを上げることを目的に行った。1日目こそはチームとしてのまとまりや戦うことに困難な面も見られたが、2日目、3日目とゲームを戦う中で徐々にではあるがまとまりや戦う意識がでてきたように思う。

また、選手個々で見ると攻守の個人戦術の理解度があまり高くなく良い習慣が身につけていない。オフ・ザ・ピッチではU-13,14からの積み上げもあり概ね良好であった。

ゲームでは、自分のプレーは考えながらプレーしている選手は多くいたが、試合の流れや状況に応じて考えてプレーしているかという課題があった。また、今後選抜チームとして戦う上で一番大事な部分(今までも大事ではあったが)のコミュニケーションが十分とれていなかった。そのためチームとして・仲間として助け合うことが少なく、相手の攻撃に対し、自分のゾーンに入ってきた相手のマークはするが、ゾーンから出て行った相手に対して、味方に声をかけて受け渡しをしない。攻守において味方の視野から消えている選手やスペースがあることを、見えている選手が教えて上げない。そのため守備では、ディフェンスの間、ハーフとディフェンスの間にポジションをとられるとマークが曖昧になり、そこから崩されることが多く見られた。クロスに対する守備にしても相手を簡単にフリーにしてしまい、失点してしまう場面も見られた。

3日間6試合を通して、特に予選リーグで1点差の敗戦が2試合、引き分けが1試合と1点の重み感ることができ、サッカーの基本であるゴールを奪う、ゴールを守るということの大切さを選手一人一人が痛切に感じたと思う。

1月以降は活動を一旦休止し、3月に私立高校進学者及び高校1年生早生まれで練習会、姫路フェスティバルに参加。その後4月からは国体選抜候補選手として活動を行う予定である。受験によるブランクと、高校1年生になり所属チームでの出場機会が少なく公式戦から遠ざかる選手に対しての継続的な活動と試合経験を確保する必要がある。

今後、和歌山県代表選手として真剣勝負を闘うことで、技術・戦術の向上が見られると思うが、まずは基本に立ち返ってイージーミスをなくし、1試合を通じてハイテンション・ハイプレッシャーな守備ができることをベースとしてほしい。

それぞれの試合の中での成果と課題は以下の通りである。

和歌山県トレセン 参加選手			
背番号	氏 名	ポジション	所属チーム名
1	榎本 勝仁	GK	三佐木アルマボーラ
2	小 裕 勇 人	FW	田辺市立 衣笠中学校
3	小 川 奨	FW	那智勝浦町立 那智中学校
4	平 野 真 也	FW	ベローラ日高FC
5	武 田 拓 真	MF	田辺市立 高雄中学校
6	脊 古 恭 吾	FW	三佐木アルマボーラ
7	浜 本 凌 汰	FW	上富田町立 上富田中学校
8	上 野 僚 平	MF	白浜町立 富田中学校
9	垣 口 浩 杜	MF	ベローラ日高FC
10	松 谷 幸 征	FW	H.L.P デポルターレ U-15
11	山 田 嘉 也	DF	日高フューチャーズ
12	吉 田 恵 司	FW	串本町立 串本中学校
13	松 川 大 地	DF	H.L.P デポルターレ U-15
14	山 崎 大 地	DF	ベローラ日高FC
15	小 川 陽 平	MF	ミラグロソ海南SC
17	田 畑 康 平	MF	H.L.P デポルターレ U-15
18	筒 井 滉	DF	三佐木アルマボーラ
19	松 田 敦 史	DF	海南市立 第三中学校
20	余 川 ジョウイ	DF	H.L.P デポルターレ U-15

1 2月25日 (土) 予選リーグ①

会場：京都府立山城総合運動公園 (太陽が丘) 球技場A (クレー)

12:20kick off (30分-5分-30分)

和歌山県トレセン 対 京都中丹選抜

3	[1	-	0]	1
		2	-	1		

《前半》 4-4-2



《後半》 4-4-2



〈交代〉

時 間	OUT	IN	備 考
30分	② 小裕	⑬ 松川	
30分	④ 平野	⑫ 吉田	
30分	⑤ 武田	⑥ 脊古	
30分	⑨ 垣口	⑦ 浜本	
30分	⑪ 山田	⑩ 松谷	
30分	⑮小川陽	⑰ 田畑	
30分	⑱ 筒井	⑧ 上野	
30分	⑲ 松田	③小川燮	CDF⑳余川、FW③小川燮

〈得点〉

時 間	チーム	得点者	得点経過 (～:ドリブル →:グラウンダーパス ◯:浮き球 パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
29分	和歌山	⑱ 筒井	(右)⑮◯(中央)⑱右足S
40分	和歌山	③ 小川燮	(右)⑦→(中央)③~右足S
44分	京都中丹	④	(中央)⑦→(左)④左足S
57分	和歌山	③ 小川燮	(中央)⑰→(中央)③右足S

【成果】

- サイドバックが前の選手を追い越す動きで数的優位で起点を作り、逆サイドのスペースを有効に使い相手守備網を崩すことができた。

【課題】

- ボールに近い選手がアプローチをかけ、もっと相手の近くで粘り強く対応する。特に中央では前を向かれてももっとよる。前方に簡単にパスを出されない。
- パスの受け手側の意識が低く優先順位に基づいてアクションする習慣が乏しいため結果的にゴールを目指してサポートする選手が少ない。
- ボールを素早く動かすだけでなく、あるときは自分でキープして(ボールの置き所が良いため、相手に奪うチャンスを与えない)、攻撃のリズムに変化を与えたり、ピンポイントのパスを通してゴールに結びつける。
- 味方、相手、スペース、ボールの状況を良く観てポジションを変える。変化が起これば同じポジションにいない。全員が同じ方向性ではなく、逆の方向性を考える。

1 2月25日 (土) 予選リーグ②

会場：京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）陸上競技場（天然芝）

14:40kick off (30分-5分-30分)

和歌山県トレセン 対 福井県トレセン

0 $\begin{bmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{bmatrix}$ 1

4-4-2



〈交代〉

時間	OUT	IN	備考
19分	⑪ 山田	④ 平野	LMF④平野、LSB⑩松谷
30分	② 小碓	③小川燐	
30分	⑥ 脊古	⑫ 吉田	
30分	⑩ 松谷	⑪ 山田	
30分	⑮小川陽	⑲ 松田	
39分	⑧ 上野	⑱ 筒井	
39分	⑨ 垣口	⑦ 浜本	
39分	⑰ 田畑	⑤ 武田	
50分	④ 平野	⑳ 余川	

〈得点〉

時間	チーム	得点者	得点経過 (～:ドリブル →:グラウンダーパス 〇:浮き球パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
48分	福井県	⑩	PK⑩右足S

【成果】

○

【課題】

- ファーストディフェンダーの決定や粘り強い対応で相手のプレー制限からセカンドディフェンダーのポジショニングと追い込みを变化する中での的確に行う。
- 前線からの積極的な守備がないために、3ライン、中盤でのブロック形成が遅れボールを奪えない。

- パスを止まって足元で受ける選手がほとんどで、動きながら受ける、スペースへボールを動かすことに対しての意識が薄い。
- コントロールの得意な足で行うために、相手から近い足になってもその足で運び相手からチェックを受け失う。
- くさびに対する足元への強いパスなど、パスの出し手がしっかりと状況を把握し、的確な判断を伴った意図のあるパスを出すこと。
- FWのDFとの駆け引きで動き出しのタイミングからオフでゴール前の状況を観て、積極的に相手の裏のスペースに飛び出しゴールを奪う。
- 各選手が違うポジションで受けることを考えて、ボールに寄って受けたらシンプルにパスして自分はボールを超えて高い位置にランニングしてできたスペースに他の選手が入りパスコースを増やして相手に狙いをつけさせないようにすることが必要。
- ボールを動かしながら縦に「くさび」を入れ3人目の選手がアクションを起こし、そこに別の選手が絡んでくる連動性のあるプレーが生まれるように。
- 横パスが多く、前に向けるチャンスでも向かない、相手に隙があってもボールを前に入れない、簡単に下げてしまう。ゴールに向かってプレーできない。
- サイドチェンジのパスが出た瞬間にサイドバックが前の選手を追い越す動きでサイドに数的優位を作り出し、相手の裏のスペースへタッチ数の少ないポゼッションで抜け出すといった動きをタイミング良く連続して行うことで相手守備を混乱させることができず、中央での単調な攻撃ばかりになる。

1 2月26日（日）予選リーグ③

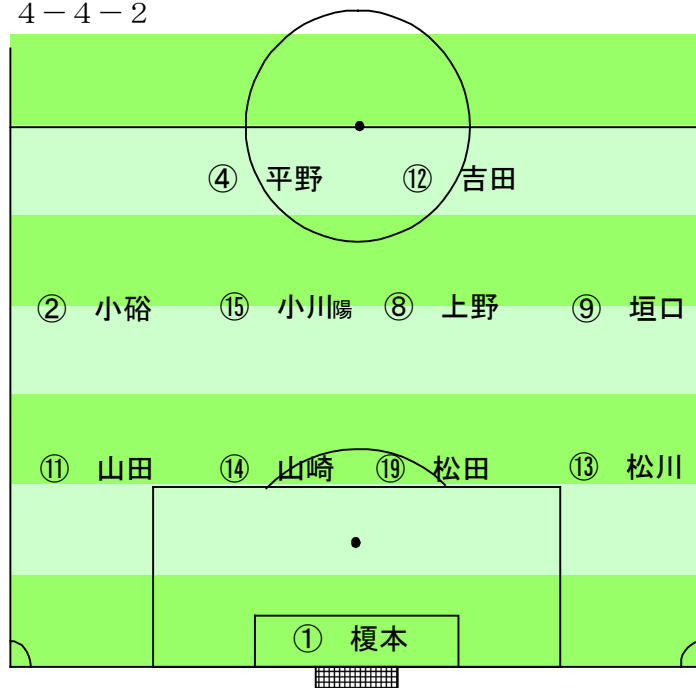
会場：京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）球技場A（クレー）

11:50kick off（30分-5分-30分）

和歌山県トレセン 対 奈良中体連選抜

2 $\begin{bmatrix} 1 & - & 0 \\ 1 & - & 2 \end{bmatrix}$ 2

4-4-2



〈交代〉

時 間	OUT	IN	備 考
30分	② 小裕	⑰ 田畑	
30分	⑫ 吉田	③小川奨	
30分	⑮小川陽	⑱ 筒井	
46分	⑧ 上野	⑤ 武田	LHF⑤武田、Vo⑰田畑
52分	③小川奨	⑥ 脊古	

〈得点〉

時 間	チーム	得点者	得点経過 (～:ドリブル →:グランダーパス ◯:浮き球 パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
13分	和歌山	⑨ 垣口	PK⑨右足S
35分	奈良選抜	⑮	PK⑮右足S
45分	和歌山	⑨ 垣口	PK⑨右足S
48分	奈良選抜	⑮	(右)⑭→(中央)⑮右足S

【成果】

○

【課題】

- 中盤でのマークが甘く、簡単にバイタルエリアに入れられてしまう。粘り強い対応で最後まで責任を持って追い込む。
- タッチライン際でボランチとサイドバック、サイドハーフとの連携でリスクを管理し、相手攻撃を遅らせる中で中盤にブロックをつくり、ボールを奪取する。
- 自陣でボールを奪った後、ドリブルスタートしてボールを奪われるとゴールに結びついてしまう。ビルドアップ時にはワンタッチのタイミングを意識して突破を狙う。
- セカンドボールをしっかり拾い、つなげる。
- 味方、相手、スペース、ボールの状況を良く観てポジションを変える。変化が起これば同じポジションにいない。全員が同じ方向性ではなく、逆の方向性を考える。

1 2月 26日 (日) 予選リーグ④

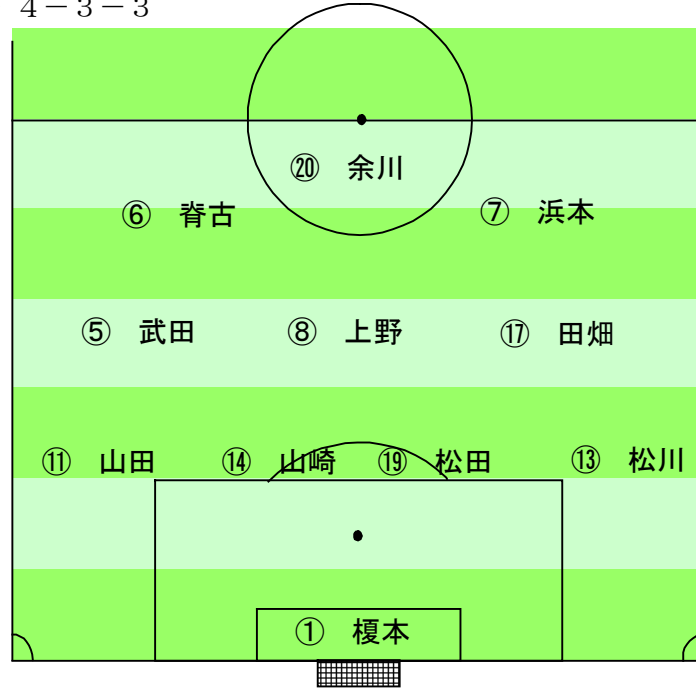
会場：京都府立山城総合運動公園 (太陽が丘) 陸上競技場 (天然芝)

1 4 : 1 0 kick off (3 0分 - 5分 - 3 0分)

和歌山県トレセン 対 京都府トレセン

3 $\begin{bmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{bmatrix}$ 1

《前半》 4-3-3



《後半》 4-2-3-1



〈交代〉

時 間	OUT	IN	備 考
3 8分	⑧ 上野	⑱ 筒井	
3 8分	⑪ 山田	② 小裕	
3 8分	⑬ 松川	⑨ 垣口	
3 8分	⑭ 山崎	⑮ 小川陽	
4 9分	⑥ 脊古	③小川燐	
4 9分	⑦ 浜本	⑫ 吉田	
5 9分	⑲ 松田	④ 平野	CMF④平野、V6⑤武田、CDF⑱筒井

〈得点〉

時 間	チーム	得点者	得点経過 (～:ドリブル →:グラウンダーパス ∩:浮き球 パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
5 分	京都府	⑲	(左)⑲∩左足S
2 9分	和歌山	⑦ 浜本	(左)⑳→(中央)⑦右足S
3 2分	京都府	⑨	ゴール前×(中央)⑨HS
4 1分	和歌山	⑳ 余川	(右)CK∩(左)⑦∩(中央)⑳HS
5 2分	京都府	⑱	(左)CK⑦∩(中央)⑱右足S

【成果】

- FWがターゲットになりボールを引きだし、くさびのボールをじっくり収めてキープし、2列目からの飛び出しやサイドのオープンスペースにサイドバックのタイミングのよいオーバーラップなど幅・厚みのある攻撃。

【課題】

- 1対1の相手に対する強さが発揮できない。また、取りどころや誰が取るのかが明確でなく、ボールを奪えない。
- ボールに近い選手がアプローチをかけ、もっと相手の近くで粘り強く対応する。
- クロスに対する守備でポジショニングが悪い。特にサイドで時間をかけられた後のクロスに対しては、ボールとマークの同一視ができなくなりボールウォッチャーになってしまうことで裏をとられてしまう。
- センターバックのポジションが曖昧で、2人の距離(DF時、門を閉める、段差でGAPをつくらない)やマークの間合いや距離が十分でなく、人は相手より多い状況でも簡単に裏を狙われてしまう。
- センターDFとボランチの距離をあけすぎない。ブロックをつくりスペースを埋め、相手にバイタルエリアを簡単に使わせない。相手がボールを下げたり、長いボールが入ったらマークする相手を見ながらラインを押し上げたり、3ラインの距離を保ちながらラインコントロールしてバランスをとりいいポジションをとる。
- GKも含めたビルドアップが少ない。数的に優位なディフェンスラインでの有効な組み立てとGKとボランチの活用の工夫が見られなかった。また前方にスペースがあってチャレンジできるときにいかない場面があった。

1 2月27日 (月) 4位トーナメント

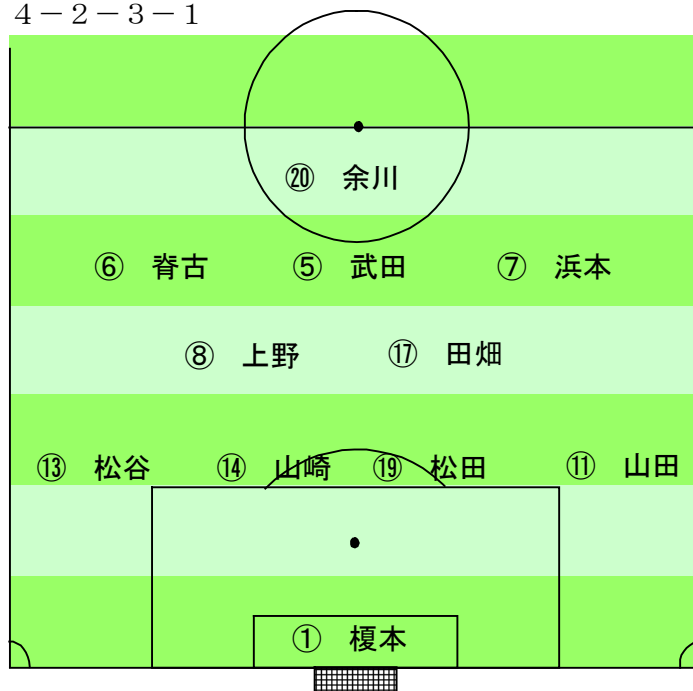
会場：京都府立府民スポーツ広場 (みどりが丘) 第2 (クレー)

10:45kick off (30分-5分-30分)

和歌山県トレセン 対 石川県トレセン

2 $\left[\begin{array}{cc} 2 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{array} \right]$ 0

4-2-3-1



〈交代〉

時 間	OUT	IN	備 考
30分	⑤ 武田	④ 平野	
30分	⑥ 脊古	③小川奨	
30分	⑦ 浜本	② 小裕	
30分	⑧ 上野	⑨ 垣口	
30分	⑭ 山崎	⑮小川陽	
30分	⑰ 田畑	⑬ 松川	RDF⑬松川、LDF⑪山田、Vα⑩松谷
30分	⑰ 松田	⑱ 筒井	
30分	⑳ 余川	⑫ 吉田	
50分	⑨ 垣口	⑤ 武田	

〈得点〉

時 間	チーム	得点者	得点経過 (～:ドリブル →:グラウンダーパス ∩:浮き球 パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
20分	和歌山	⑥ 脊古	(中央)パスカット⑰→(左)⑥~右足S
24分	和歌山	⑳ 余川	(中央)FK⑤ ∩(中央)⑳HS リバウンド(右)⑦S リバウンド(中央)⑳右足S

【成果】

○トップの動き出しのタイミングからオフでゴール前の状況を観て、積極的に相手の裏のスペースに飛び出しゴールを奪う。

【課題】

- 1対1の対応で、身体を寄せられない。また身体の体軸を相手に当てていけない。
- サイドに展開されたとき、ボールウォッチャーになりボールサイドに寄りすぎてしまいマークが視野に入っていない。
- ボール保持者にプレスがかかっているのか、いないのかの状況を観ないでDFラインを引きすぎてしまい簡単にバイタルエリアを侵入されてしまう。また、守備ラインをどこに引くのか、ボールをどこで奪うのかを明確にできていなかった。
- 遠くを観る。観るところが近すぎて角度もない。ボールから遠いところでマーク、スペースを観てポジションを取りアクションを起こす。
- ボール保持者に寄りすぎない。距離をとって逆を考える。
- ボランチはボールに寄りすぎず中央で相手のFW、MFの間の狭いスペースに入ってボールを引きだし、ボランチにボールが入った時にサイドバックがボールを追い越すような大きな動きを積極的にしないためにボールがうまく動かない現象が目立った。

1 2月27日（月）13-1 4位決定戦

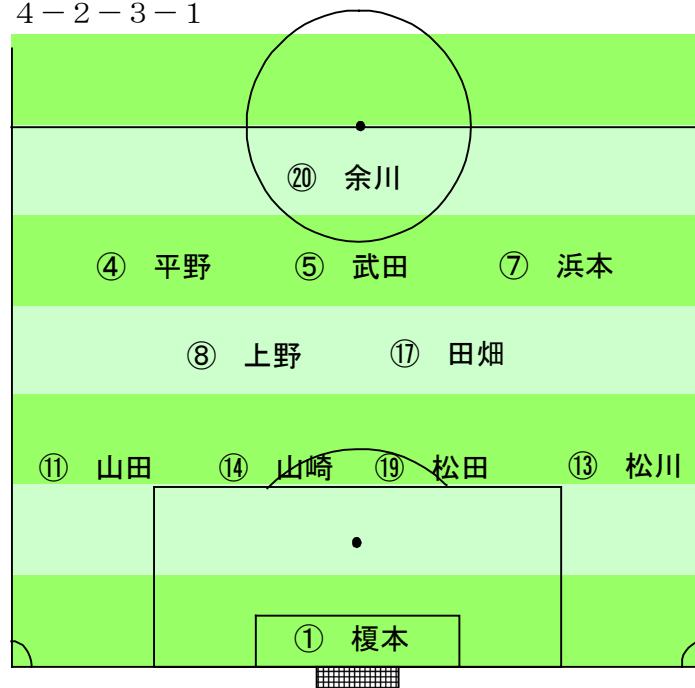
会場：京都府立府民スポーツ広場（みどりが丘）第2（クレー）

13:15 kick off（30分-5分-30分）

和歌山県トレセン 対 大阪府トレセン

2 $\left[\begin{array}{ccc} 2 & - & 4 \\ 0 & - & 1 \end{array} \right]$ 5

4-2-3-1



〈交代〉

時 間	OUT	IN	備 考
1 7分	⑳ 余川	㉑ 吉田	
4 3分	㉒ 浜本	㉓小川燐	
4 3分	㉔ 平野	㉕ 脊古	
5 0分	㉖ 武田	㉗ 小裕	
5 0分	㉘ 上野	㉙小川陽	
5 0分	㉑ 吉田	㉒ 松谷	
5 0分	㉓ 田畑	㉔ 筒井	CDF㉕筒井、Vo㉖松田

〈得点〉

時 間	チーム	得点者	得点経過 (～:ドリブル →:グラウンダーパス ◯:浮き球 パス ×:混戦 S:シュート H:ヘディング)
1 分	和歌山	㉒ 浜本	(中央)×㉑→(左)㉒右足S
3 分	大阪府	㉓	(左)㉓～(中央)㉓右足S
4 分	大阪府	㉔	(中央)㉓→(中央)㉔右足S
2 0分	大阪府	㉕	(中央)㉓→(右)㉕右足S
2 5分	大阪府	㉔	(中央)㉓～→(右)㉔右足S
3 0分	和歌山	㉕ 松川	(中央)㉑S リバウンド(右)㉕右足S
4 6分	大阪府	㉔	リバウンド(中央)㉔右足S

【成果】

○

【課題】

- インターセプトを狙うポジショニングと、相手のボールを奪うために近づく守備が徹底できない。相手のミスを待つのではなく、ボールに寄り積極的に自分からしかけてボールを奪う。
- ゴール前では相手に身体の体軸を当てて自由を奪う。ブロックして相手に前に入られない。
- センターDFがボールに食いついてしまい、カバーのポジショニングが遅れる。
- ボールから遠いところでマーク、スペースを観て攻守の切り替え状況を判断してスタートポジションを取りアクションを起こす。